

会 議 録

会議の名称	第6回行田市総合振興計画審議会
開催日時	令和2年8月20日(木) 開会：午前10時00分 閉会：午後11時30分
開催場所	行田市商工センター401研修室
出席者氏名	田尻要委員、高澤克芳委員、木村博委員、橋本祐一委員 岸田昌久委員、大関守宏委員、細井保雄委員、坂根茂夫委員 栗原三郎委員、小林亘委員、野本勝之委員、小林定春委員 大谷春美委員、関口正彦委員、町田眞一委員、大澤由子委員、 高鳥和子委員、山崎孝子委員、磯部佑二委員、今井明委員
欠席者氏名	根本和雄委員、碓井進太郎委員
事務局	畔上総合政策部長、島田企画政策課長、横倉企画政策課主査、渋澤企画政策課主任
会議内容	(1) 基本計画の一部修正について (2) 基本計画「計画の推進」について
会議資料	・次第 ・資料1 基本計画「計画の推進」 ・第6次総合振興計画基本計画案
その他 必要事項	傍聴者3名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>司 会</p> <p>田尻会長</p> <p>事務局</p> <p>田尻会長</p> <p>今井委員</p>	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これより議事を進行する。本日は、委員 22 名中 20 名に出席いただいております、審議会条例第 8 条第 3 項に規定する過半数を超えているため、会議は成立していることを申し添える。 ・続いて次第の 3、議事に移る。議事の進行は審議会条例に基づき田尻会長にお願いする。 ・議事の前に、第 1 回審議会の皆様にご了承いただいたとおり、会議は公開とし、会議録は市ホームページ及び市政情報コーナーで公開させて頂くことをご了承いただきたい。 ・今回は基本計画の中の最後の部分である「計画の推進」について議題とするほか、主に第 4 回及び第 5 回で議題とした基本計画の第 1 章から第 5 章について、審議を踏まえて修正した箇所があるのでその報告をさせていただく。 ・はじめに議事の（1）について、事務局より説明する。 <p>（1）基本計画の一部修正について</p> <p style="text-align: center;">（第 6 次総合振興計画基本計画案により説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆様からのご意見を踏まえた修正案について事務局より説明があったが、確認等はあるか。 ・P29 について、「2. 学校再編成の推進」の主な取組みとして「再編成に合わせた小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校の創設」が追加で記載された。前々回の意見を反映していただいた結果であるが、義務教育学校については、荒木地区で疑問や不満を抱いている住民もいることから、地域の実情について、この会議の皆様にもご理解いただきたく発言させていただく。 ・P93 について、「3. 生産基盤の整備」において「荒木南部地区のほ場整備事業を推進」とある。ほ場整備にあたり荒木地区でアンケート調査が実施された結果、53%が賛同としたが、県では 95%の賛同が得られなければ採択しないとの方針を示している。そのため、「推進する」ではなく「検討する」のようにトーンダウンし

事務局	<p>た形で表現した方がよいのではないかと、以前の審議会でも発言させて頂いたが、「推進する」のままとなっているため、この点についてのお考えうかがいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校については、荒木地区でさまざまなご意見があるということは承知している。学校再編成については、対象となる児童や生徒を第一に考えて今後も進めていく。 ・荒木地区のは場整備については、担当部署に確認したところ、アンケート調査では同意が現状は50%台前半であるということは確認している。これを低いと見るかは個人の主観もあると思うが、推進したい意向の方が過半数いる事も事実であることから、引き続き地区の皆様との理解を得ながら進めていきたい。
細井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P48の「3. 治水機能の向上」についてだが、前回お伺いした旧忍川の調節池について、進捗等があれば状況をお聞きしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・旧忍川のさきたま調節池は県事業であるが、確認したところ、現状としては具体的な進捗はないとのことであった。整備されれば市としてもメリットはあるものと考えているが、一方で、今後は忍川整備計画に新たに位置付けた調節池整備着手を予定しているため、優先順位付けとして、当面はこちらを推進していくと考えられる。
細井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・旧忍川の調節池をボートの利用ができるような親水公園として整備し、さきたま古墳公園や古代蓮の里までのプロムナードを形成できれば、健康志向の高まりを受けた市民の利用や、観光面での効果も期待できるのではないかと。防災も大事であるが、観光面も含めた形で整備をいただけるよう県にもお願いしてほしい。 ・それにより、中心市街地の活性化が図られGDPが25億円増えれば10億円が地域に落ちる。そうすると市内200店舗で1店舗あたり500万円売り上げが増えることになり、雇用にも好影響が出る。ぜひ優先順位について県にも相談しながら進めて頂きたい。 ・更に関連して、古代蓮の里周辺にトマトやイチゴなど観光農園ができれば、現在トマト農家は年収2千万円とも言われるなかで、魅力ある職業として新規就農者が出てくるなど、農業の活性化にもつながるのではないかと。一石三鳥になる取組みとして県に引き

事務局	<p>続き働きかけをお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川改修や調節池の整備は莫大な事業費がかかるため、同時進行は県としても厳しいのではないかと考えられる。さきたま古墳公園や古代蓮の里周辺については、平成 25 年度から 3 年間かけて、県の「川のまるごと再生プロジェクト」という取組みで遊歩道を整備している。今後は、整備した遊歩道の利活用にも力を入れていきたい。
関口委員	<ul style="list-style-type: none"> 観光の話があったが、市外から行田に来る人にとって、駐車場は非常に大切なものである。観光には必ず駐車場の問題が付いて回る。高齢化社会にあって、長い距離を歩かなくても観光を楽しむことができる環境づくりを含めて考えるべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場については、古代蓮の里やさきたま古墳公園、忍城城址など、規模の大きな施設には既に整備がされている。それ以外に、例えば市街地の蔵巡りなどの際の駐車場としては、産業文化会館南側にバスターミナル駐車場があるが、地元の方以外にはわかりにくく、観光客の利用が進んでいない現状がある。また、台数としても、現状イベント時以外はその駐車場で台数も足りていることから、周知を優先すべきと考えている。
田尻会長	<ul style="list-style-type: none"> 他に意見がなければ、基本計画第 1 章から第 5 章までは、本修正案のとおりとし、追加で修正はしないこととしてよいか。
各委員	<p style="text-align: center;">(異議なしの声)</p>
田尻会長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、続いて議事(2)に移る。事務局より説明する。
事務局	<p>(2) 基本計画「計画の推進」について</p> <p style="text-align: right;">(資料 1 により説明)</p>
田尻会長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局より説明があったが、ご意見があればお願いしたい。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> 先日、熊谷市で国道 17 号バイパス沿線に大規模な道の駅建設を構想しているとの報道があった。それを聞いて、行田市も頑張らなくてはという想いが強くなった。ピンチの際にはそこにチャンスがあるという言葉がある。水害対応のために遊水池を造ることは、費用もかかるしマイナス面と言える。一方、プラスの面には、さきたま古墳群が国宝に値する特別史跡に指定されたことや「埼玉県名発祥の地」であることなどがあるが、そうしたマイナス面を

事務局	<p>古代蓮や観光農園と結びつける、ピンチをチャンスに変えるアイディアは素晴らしいと思う。プラスとマイナスをそれぞれ別に考えるのではなく、それを結びつけて大きなプラスに変えていく発想が行政としても必要ではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P2に「政策分野1. 協働の推進」とあり、「協働」という言葉を行政はよく使いたがるが、一般市民にはなじみがない言葉である。現状と課題に「●市民意識調査の結果等を見ると、市民一人ひとりがまちづくりの当事者であるという意識が十分に浸透しているとは言えない状況です。」とあるが、根拠となる調査結果を教えてください。 ・ P3やP5の右下に大きな余白がある。こうした空白はこのまま残すのか。この空白を活用して、例えば「協働」の意味を脚注として掲載することや市民活動団体の紹介など、本計画を市民が理解する上で助けとなる情報を掲載してはどうか。 ・ 現状と課題で言及している市民意識調査結果については、令和元年度に実施した調査で「市民と協働で行政運営を進めることが望ましいか」という設問に対し、「市民と協働で進めるべき」が約40%、「行政の責任で進めるべき」が約50%であり、協働で進めるべきという意見の方が少ない結果であった。ご指摘を踏まえ、具体的な数値を記載してもよいと考えられるため、修正させていただきます。 ・ 各ページの余白については、最終的に計画冊子として印刷する際には、用語解説や関係する写真を入れることを予定している。最終的には、1つの政策分野を見開き2ページに収めるなど、見やすいレイアウトの計画にしたいと考えている。
岸田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この計画の協働に関する文章を見た時に、今までも自分の時間をやりくりして市に貢献してきたつもりだが、行政に「もっと働け」と言われているような気持ちになった。他市の計画を見ると「連携」「協力」「情報をください」というようにもう少し柔らかい表現のところが多いのではないか。ここに集まっている委員の皆様もほとんどがボランティアで活動されている方々だと思う。先ほどの調査結果でもあるように、「市の責任で進めるべき」というの

<p>今井委員</p>	<p>は、税金を払っているのだから、公僕として市の職員はしっかり責務を果たしてほしいという意見だと思う。もう少し「協働」の意味の理解をわかりやすく、そして表現については柔らかくなるとういと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P8 主な施策「1. 男女共同参画の推進」の主な取組みに「DV防止及び被害者に対する支援」とある。DV防止と被害者支援は非常に重要な取組みと考えるが、近年問題になっているセクハラ・パワハラ・マタハラなどの各種ハラスメントへの対応も大事な取組みであるため、記載を検討してほしい。 ・羽生市では、東北自動車道の羽生ICの近くに大規模農業団地プロジェクトとして、観光農園を含む農業を活かした交流拠点の構想が進められている。そうしたことを行田市も考えてはどうか。農業による観光振興は農家にとっても有益なことであるし、市民や近隣の市民にとっても非常によいことだと考える。議事の1番に戻ってしまうが、資料1のP97「2. 市民農園等の促進」の中で観光農園に触れられているが、ぜひ市として観光農園に力を入れてほしい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光農園については、現在の計画案にも記載はしているため、具体的なお意見について担当部署にお伝えする。 ・DVに関連して、各種ハラスメントへの対応については、政策分野4のなかで「様々なハラスメントの防止（あるいは対策）」といった内容で追加させて頂きたい。
<p>細井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の食料自給率は現在28%であり、まだまだ不足している状況である。生産性を高め、観光農園だけでなく、市場への流通、海外に輸出するくらいの考えで推進して頂きたい。 ・政策2については、財政の縮小だけではなく、計画案のP91にも記載があるが、国道17号バイパス沿線への企業誘致を進め、企業の固定資産税による税収増、あるいは観光入込客数の増加による収益の増加に取り組んでほしい。また、行財政改革について、事業費削減にあたっては時間をかけることで皆が納得する形で進めて頂きたい。
<p>磯部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P6のコミュニティ活動の活性化について、一番の問題点は加入者

<p>事務局</p>	<p>の減少による組織率の低下や高齢化である。新規住民は若い人が多いため、自治会の役員が訪問し説明をしても興味がないと言われてしまう。そのため、住民登録の際に新規住民に自治会への加入を強力に推進してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P12「2. 自治体間交流の促進」の主な取組みに「友好都市との交流」とあるが、近隣市町村との交流も重要ではないか。先ほども羽生市や熊谷市についてのご意見があったが、近隣市と連携した観光振興ということもぜひ検討してほしい。 ・行財政運営については、本計画は地方自治法に定められた市の最上位計画であり、だからこそ行田市の各界のトップが集まり協議している。計画案を見ると総花的に全ての政策・取組みが掲載されており、どこが重点なのかわかりにくい。今後より具体的で戦略的な計画を市長と若手職員を中心に策定し、それを目玉に行政を推進することをご検討頂きたい。 ・自治会については、現状と課題にも記載しているとおり、近年加入率が低下を続けており、市としても自治会への加入促進に取り組んでいる。自治会活動は強制ではないため、市としてもどの程度強く言うべきか対応に苦慮するところではあるが、なるべく若い方に地域活動に参加して頂けるよう取組みを進めていきたい。
<p>磯部委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それ以前に、住民登録の段階で自治会加入を強く進めるという事を市の仕事としてお願いしたいという意見である。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者に渡している案内一式の中に自治会加入に関する資料が入っているかこの場では回答できないが、ご提案の取組みについては、自治会を所管する部署に伝えさせていただく。 ・自治体間の交流の推進について、友好都市だけではなく周辺都市との交流も重要とのご意見について、観光振興やごみ処理施設建設などの分野で個別に記載しているところであるが、この「2. 自治体間交流の推進」の中にも、「近隣都市との連携・交流」のような形で追加させていただく。 ・市で特に力を入れて推進する内容としては、総合振興計画とは別に「総合戦略」という計画を策定しており、「企業誘致による産業振興」「子育て支援の充実」など、市として重点的に進めていくべ

	<p>き内容を定めている。総合振興計画は、市の政策全般を網羅する必要があるため、重点が見えにくい面があるが、そうしたところについては他の計画でカバーしているというところでご理解を頂きたい。</p>
磯部委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P14「政策分野 1. 行財政改革の推進」の主な施策も「1. 行財政改革の推進」と同じ言葉が並ぶが、「計画的な行政運営の推進」のように、計画的に推進していくという視点が今一番欠けているのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の 5 次計画についても、定期的な進行管理や中間年での中間評価を行っている。検証結果については、第 2 回の会議の際に資料として提示しご説明させて頂いた。そうした取組みは、第 6 次計画でも当然進めていく。
細井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅については、近隣だと群馬県川場村の「川場田園プラザ」や深谷市の「道の駅おかべ」の売上が高い。熊谷市で建設予定の道の駅については、17 号バイパス沿線であり非常に立地がよく、集客が期待できる。ぜひ行田市も遅れを取らないように他市との連携を図りつつ進めてほしい。また、道の駅を訪れたお客様に市内の観光スポットを訪れてもらえるような連携も必要だと考える。
田尻会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見はよろしいか。総合振興計画は市の最上位計画として、全体を俯瞰した内容とすることをきちんと押さえる必要があるというところをご理解を頂きたい。 ・議事の（２）については、概ね原案通りとするが、皆様のご意見を踏まえ、一部追加や修正をしたい。具体的な修正内容については、会長と事務局との協議により一任ということでよろしいか。
各委員	<p style="text-align: center;">（異議なしの声）</p>
田尻会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事は以上である。これまでの審議の結果については、「計画書案の提出」という形で、9 月下旬に審議会を代表し、会長である私と高澤副会長より市長へ答申を行うこととなっている。市長にお渡しする計画書案については、同じものを後日皆様のお手元に事務局より送付をさせていただく。 ・9 ヶ月間にわたり、皆様のご活発な審議、円滑な会議運営へのご

<p>司 会</p> <p>事務局</p>	<p>協力に心より感謝申し上げます。会議の進行を事務局へお返しする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間にわたり審議いただき感謝申し上げます。最後に、4 その他として、策定に係る今後のスケジュールについて説明する。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月下旬に会長及び副会長より市長へ答申した後、10月に市民意見募集、いわゆるパブリックコメントとして30日間、市民等からの意見を募集する。その後12月議会で市議会への上程を予定している。最終的な完成は年度末になる予定だが、計画書が完成した際には、委員の皆様へ冊子を郵送させて頂く。
<p>司 会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は以上で終了となる。昨年11月から計6回にわたりご協力いただき、感謝申し上げます。 <p style="text-align: center;">< 閉 会 ></p>